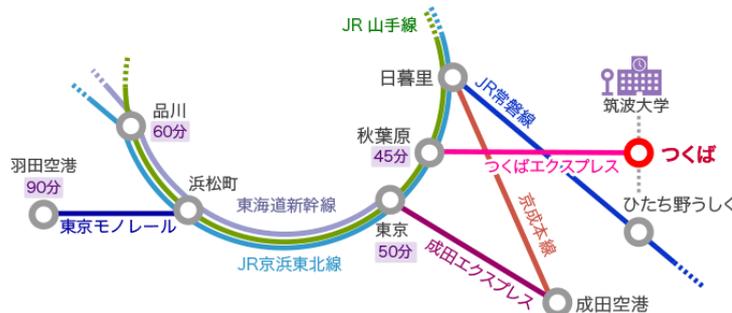


原子力災害による環境・生態系影響 リスクマネジメントプログラム 集中講義

ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。筑波大学では、下記のとおり、集中講義を開講します。皆様のお申し込みを心よりお待ち申し上げます。

- 講義期間：平成 28 年 7 月 5 日（火）～7 月 13 日（水）
時間割、講義時間等は各科目詳細をご参照ください。
- 教室：筑波大学 筑波キャンパス
〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1 丁目 1-1



- 募集人員：10 名（先着順）
- 対象：原子力を学んでいる大学院生等
- その他：参加費無料
講義は、一部のみの受講も可能です。詳しくはお問い合わせください。
会場へは公共交通機関の利用をオススメします。
- 申込・問合せ：
筑波大学 生命環境系 生命環境エリア支援室
〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1 総合研究棟 A705
原子力災害による環境・生態系影響リスクマネジメントプログラム（ENEP）
事務局 竹中・高橋
TEL 029-853-5960 E-mail enep@ied.tsukuba.ac.jp

原子力災害環境影響評価論 II

(コードシェア：システム情報工学研究科 構造エネルギー工学特別講義 X)

概要：

日本原子力機構が取り組む福島復興事業や原発の廃炉措置に関する研究および緊急時対応について紹介します。



開講時期： H28 年 7 月 5 日（火）、6 日（水）、8 日（金）

講義は、一部のみの受講も可能です。

詳しくはお問い合わせください。

教室： **筑波大学 筑波キャンパス 2C 棟 101** 教室変更！ご注意ください。

	時間	内容	教員
5 日 (火)	3 限	福島第 1 原子力発電所事故後の JAEA の取り組み（全体概要）	日本原子力研究開発機構 職員
	4 限	放射能マップはこうしてできあがる	
6 日 (水)	2 限	放射性 Cs の吸脱着メカニズム	
	3 限	燃料デブリ取り出しに向けた研究	
	4 限	モデル除染、除染技術と中間貯蔵施設の概要	
	5 限	高度化する無人モニタリング技術	
8 日 (金)	2 限	櫛葉遠隔技術開発センターと原子力災害対応ロボット	
	3 限	放射性廃棄物の処理・処分に向けた研究	
	4 限	福島長期環境動態研究	
	5 限	防災研究への活用	

原子力災害環境 影響評価論Ⅲ



概要：

原子力災害に対する緊急取り組みの現状と課題について紹介します。

開講時期： H28 年 7 月 7 日（木）、11 日（月）

講義は、一部のみの受講も可能です。詳しくはお問い合わせください。

教室： 筑波大学 筑波キャンパス 総合研究棟 A-107

	時間	内容	教員	
7 日 (木)	2 限	農地土壌における放射性 Cs の挙動	関連施設職員	
	3 限			
11 日 (月)	4 限	河川流域における福島第一 原発事故由来の放射性 Cs の 動態		
	5 限			
	1 限			環境放射線モニタリング (平常時から緊急時まで)
	2 限			
3 限	放射性物質の大気沈着・拡散 過程と化学輸送モデル			
4 限				
	5 限	低濃度の水中の放射性 Cs の 測定手法とその標準化		
	6 限	除染の費用と効果、放射性 Cs 含有土壌の減容化技術		

環境放射能動態解析論 I

概要：

放射線の生物・動物影響の基礎から、環境中の極微量放射性核種測定や分布・挙動に関する最先端の研究を紹介します。



開講時期： H28 年 7 月 12 日（火）、13 日（水）

講義は、一部のみの受講も可能です。詳しくはお問い合わせください。

教室：筑波大学 筑波キャンパス内 理科系修士棟 B502

	時間	内容	教員
12 日 (火)	1 限	海洋環境における放射性核種の分布と挙動 1	量子科学技術研究開発機構職員
	2 限	海洋環境における放射性核種の分布と挙動 2	
	3 限	環境中の人工放射性核種 プルトニウム	
	4 限	環境中の放射性核種分析法	
	5 限	放射線による生物影響 植物編	
	6 限	放射線による生物影響 動物編	
13 日 (水)	2 限	環境中の自然放射性核種 -ウラン-	
	3 限	環境中の自然放射性核種 -トリウム-	
	4 限	放射線による人体影響 外部被ばく	
	5 限	放射線による人体影響 内部被ばく	